

「切れない糸でいるために」

聖マリアヘルスケアセンター院長 井手 睦

リハビリテーションの診療構造の基本は急性期から生活期までどの phase においても、いわゆる PDCA サイクルの連続にある。手術や投薬と言った他の診療行為との際立った違いは、プランナーとクライアントの間に介在する Interface の大部分をリハビリ療法士や看護・介護職に代表される人的資源が占めている点である。近い将来、医療・介護の領域に人工知能 (AI) が進出してくるにしても、リハビリテーションのこの性格は大きく崩れる事は無いと思われる。

この基本構造により、リハビリテーションの「出来・不出来」がチーム・組織の管理者がもつ労務管理スキルに左右される事は明白である。管理者の労務管理を含めたマネジメントスキルとリハビリテーションをリンクして論じられる機会は少なく、特に医療機関においてはタブー視すらされる場合があるのは残念と言わざるを得ない。診療報酬への単位制やアウトカム導入などにより、リハ現場の労務管理は一見、可視化され容易になってきたかに映る。しかしながらメンタルヘルスに代表される労働環境の複雑化のスピードの方が、それに勝っているように感じるのは私だけではないだろう。

「働き方改革」の響きは耳に心地好い。しかしながら弱者救済のための自己犠牲という理念の下に成立している医療・介護の領域に、そのコンセプトをそのまま持ち込む危うさを我々はよく認識している。一方で世間一般の改革に自分達を取り残されるのではないかと危惧しているのも事実である。

クライアントが安心してからだ暮らしを委ねる反物を織りあげるには、糸一本ずつが丈夫じゃないと駄目だという認識を、久留米の地で共有していただけると幸いである。

## 講師略歴

|               |   |
|---------------|---|
| 昭和 55 年 3 月   | 福岡県立修猷館高校卒業   |
| 昭和 56 年 4 月   | 産業医科大学医学部入学   |
| 昭和 62 年 3 月   | 同 卒業  |
| 平成 11 年 3 月   | 医学博士学位授与 産業医科大学博医乙 186  |
| 昭和 62 年 7 月   | 産業医科大学病院リハビリテーション科臨床研修医   |
| 昭和 63 年 7 月   | 九州労災病院リハビリテーション科研修医   |
| 平成 1 年 4 月    | Royal Perth Rehabilitation Hospital (豪) 留学：労働福祉事業団派遣              |
| 平成 2 年 4 月    | New York University, Post-Graduate Medical School<br>義肢装具 3 コース終了 |
| 同年 9 月        | 吉備高原医療リハビリテーションセンター医員   |
| 平成 4 年 7 月    | 産業医科大学リハビリテーション医学講座助手   |
| 平成 6 年 9 月    | 九州労災病院リハビリテーション科副部長   |
| 平成 7 年 8～10 月 | Uppsala University (スウェーデン) 留学：労働福祉事業団派遣                          |
| 平成 10 年 4 月   | 九州労災病院第二リハビリテーション科部長  |
| 平成 12 年 4 月   | 産業医科大学リハビリテーション医学講座講師   |
| 平成 14 年 1 月   | 雪の聖母会聖マリア病院リハビリテーション科診療科長   |
| 平成 26 年 10 月  | 聖マリアヘルスケアセンター院長・社会医療法人雪の聖母会理事就任                                   |

労働衛生コンサルタント No. 保一第 2866 (平成 17 年度第 4 9 号保健衛生)